



そら組だより

臼井幼稚園

令和7年2月25日発行

この冬はしっかりと寒く、子ども達の冷たい手に触ると静電気がびりびり！どんなに寒くとも、外で遊びたい子ども達が愛おしいです。そしてここまでインフルエンザはほとんど皆無、風邪でお休みもとても少なかったので、嬉しい限りです。

発表会が無事終わり、今年も本当に素敵な作品ができました。予期せぬ事態も発表会の最中に起こっても、子ども達が自分の頭で考えて問題解決したり、友達をさりげなくフォローしたりすることを目にしました。そんな時に、幼稚園生活の経験で培われた子ども達の力を感じます。困っている友達は自然に助けられる、素敵なシーンを何度も見せてもらいました。

ひとつの劇を作り上げる、という共通のイメージと音楽で、どんな子も自分の思う通りに表現できるこの作品づくりはまさに世界にひとつだけのものです。

支援の必要なお子さんと一緒に、行ないました。発表会には出ない、とお決めになった保護者の方もいらっしゃいます。それもひとつの表現として受け止めています。色々な表現方法を、認めていける世の中であって欲しいです。臼井幼稚園は、色々な子どもがいて、みんな違ってみんないい。かっこいい理念とか、「こういう子を育てます」とか、机上の理想は不要だと思っています。子ども達はみんな生きていて、煌々しい。枠にはめられないからこそ美しいのです。

アクティブラーニングと文科省が推進している小学校教育は英会話もタブレットも取り入れてはいますが、本当に一人ひとりが得意なことを好きなように伸ばせる環境にあるのか？疑問を覚えずにはいられません。

幼稚園では年長の3学期頃に、個性がぐっと出てきます。私の感覚ですが、際立ってくるのが3学期、もっと早い子ももちろんいます。そうすると、もう卒園を迎えます。寂しくて晴れやかな旅立ちの日。この個性をどんどん伸ばしていって欲しいです。そのためには、親御さんのお子さんへの向き合い方が大変大切です。全面的に自分を受けて入れてくれる親御さんがいるからこそ、子どもは社会でもやっていけるのです。親御さんに信頼され、愛されているからこそ、先生を信頼できる子どもに育ちます。絶対的に受容されている子どもは自己肯定感があり、生きていく力が自然に身につきます。

世の中が、お母さま方も働くことを求め、そうしなければ生活するのが難しいように政治が仕向けています。だから保育園を乱立しているのです。そこで抗うにはあまりに無力で、ただただ経済的につらくなるだ

け。。怒りでいっぱいですが、仕方ない。

それでもいい教育を、と臼井幼稚園を選んでくださった皆さんに、いつも感謝しています。これからも努力して参ります。

園長 志田裕美子

<担任から今月のメッセージ>

発表会が無事に終りました！やったー！私は当日の朝から「緊張する～」「どうしよう～」といつも以上に口数が増え、それに加えて落ち着きもなくバタバタドタドタしておりました！！ひとまず他のクラスの手伝いを行ない、いよいよそら組のみんなが登園する時間に…。収まっていたと思った心臓の鼓動は今にも外まで聞こえてきそうなくらいバックバクしていました。そんな私をよそに子ども達は全く緊張している素振りもなく、（ちょっと顔が強張っている子もいたかな？）「おっはよー！」と、とっても元気でした！

本番までの時間に、制服の準備や楽器の確認など一つずつ確認しているとあっという間にその時間がやってきました。「よし！もし緊張してもお客様はジャガイモ！いつも通り頑張ろう～！」と気合いを入れようとして…

「ジャガイモ～何それ～」と笑いながら「どんなジャガイモ料理が好き？何作る？フライドポテトかな～ポテトサラダかな～」と全然違う話で盛り上がり始め、「そこは頑張るぞー！おー！じゃないの～」とまさかの展開に近くにいた先生達も「さすがそら組だわ～」と呟いていました。ジャガイモ話をひと段落させ、幼稚園が揺れるくらいの気合いを入れ直し、いよいよ本番。ステージ上とカーテン裏で待機するみんなの笑顔はなんだか頼もしく見えたのを鮮明に覚えています。幕が開き劇が始まると、フロアやステージ上にいる子どもだけではなく、裏からもセリフや歌が聞こえてきて、序盤から何度も泣きそうになりながらピアノを弾いていました。そら組は発表会ごっこが始まった時からやる気！元気！で満ち溢れていて、私もずーっと楽しかった記憶しかないなあ。と今学年よりを書きながら完成までの日々を色々と思い出しています。

はじめは恥ずかしい？それとも苦手？でなかなか本領発揮できていない子もいたのですが、回数を重ね完成に近づくごとに激変！すっかりその役になりきってキラキラのトップ俳優になっていました。

<2ページへ続きます>

「ここはこうしようよ！」

「これはどうかな？」と私が声を掛けなくとも、みんなで意見を出し合って高め合ってどんどん素敵な作品になっていく過程を見て、率直に良いな。素敵だな。臼井幼稚園の発表会って最高！と改めて感じました。保護者の皆様も一人ひとり輝く子ども達を見て同じように感じていただけたのではないかと思う。

幼稚園最後の発表会はまさに、

“仲間がいればどんなことでも乗り越えられる”

最高の ONE PIECE でした！

みんなありがとう。

このお便りを書いている時はまだミニミニ発表会前です。ミニミニ発表会でもそら組らしい ONE PIECE をお見せします！どうぞお楽しみに。

お別れ遠足が終わるといよいよ卒園までラストスパートです。子ども達も「あと何回寝たら卒園？」と徐々に卒園を意識し始めています。なんだかあっという間すぎて正直寂しい気持ちのほうが大きいですが、残りの日数も大事に楽しく元気に過ごしていきます。

若槻 菜美

